

すみた

# 議会だより



No. 160

平成30年

1月26日

「だんごと一緒に  
はいチーズ」

《世田米保育園》

関連記事20P

12月議会で決まったこと

## 住民と議員との懇談会

我が町政を問う（7議員が一般質問）

町婦協 議会傍聴

特集「魅力ある地域づくりを」

- ②
- ④
- ⑧
- ⑪
- ⑫

# 古き学びびや旧上小校舎 国登録有形文化財に



△明治末期の建築様式が取り入れられている旧上有住小校舎



△現在は資料館として活用

**教育委員会の行政報告**

文部科学省の諮問機関である文化審議会は11月17日、現在は民俗資料館として活用されている旧上有住小学校校舎を、国の登録有形文化財（建造物）にするよう文部科学大臣に答申。明治末期の建築様式を残す古き学びびやの歴史的価値が認められました。

旧菅野家住宅及び土蔵群に続く本町2件目の国の登録有形文化財となる見込み。木造校舎を利用した民俗資料館には、郷土芸能や庶民信仰、農耕、気仙大工などの資料を展示しています。

12月定例会は、12月5日から

8日までの4日間の会期で開かれました。

一般質問には7議員が登壇し、当局と論戦を交わしました。

その後、公用車事故に関する損害賠償に関する専決処分の

承認、補正予算案審議、教育委員の任命同意など

6議案を審議。全議案を原案通り

可決しました。

## ☆平成29年12月補正予算の主な事業

■地域情報通信推進費	877万円	■世田米小・有住小プール改修工事費	2706万円
■住民情報システム改修委託料（税番号制度システム整備費）	165万円	■要保護及び準要保護児童就学援助費	86万円
■補装具給付費	100万円	■情報教育施設リース料	55万円
■放課後児童クラブ運営費補助金	53万円	■農山漁村再生可能エネルギー法協議会委員報酬	10万円



△児童の安全確保に大規模修繕される有住小プール

# 学び環境を整備 プールサイド補修など

## 教育

### 就学援助入学準備金

### 入学前支給分を計上

小学校のプール改修工事の内容は。

## 答

世田米小ではプールサイドの補修などが

## 問

終了。有住小では壁面の亀裂など大規模修繕の必要性が確認され、塩化ビニール製の防水工事などを行う。

## 答

入学準備金（新入学学用品費）の入学前

支給に必要な経費と医療費の支給見込み分を計上。

## 問

情報教育施設リース料の補正理由は。

## 答

各小中学校の児童生徒用と校務用のパソコンを143台整備し、5年間の長期継続契約を締結。2月で契約満了となることから3月の1カ月分の再リース料を計上。

放課後児童クラブ運営費補助金が増額されたが。

## 問

児童クラブを利用する子どもが36名から54名に増加。国の補助基準額確定による。

## 答

岩手県沿岸第一地域（気仙地区）視聴覚教育協議会の廃止の経過は。

## 問

ICT社会の進展が見込まれ、関係市町において図書館などの体制も整備されていることから当協議会を廃止することになった。本町では図書室に

## 答

ライブラリーのコーナーを設置している。

## 総務

### 交際費増額は

### 斜里町との協定

交際費は80万円から100万円に増額されたが。

## 問

## 答

今年度の特殊事情による。第1点は、北海道斜里町との災害時相互応援協定締結による交流。第2点は、新町長就任に伴う協定町村、企業への表敬訪問。

第3点は、スポーツ団体、個人の全国大会出場（6競技種目）に伴うもの。

## 企画

### 電算システム更新は

### 県南地区クラウド化

電算システム導入委として固定資産台帳を整備託料がなぜ減額されるものか。

## 問

当初予算で電算システム更新事業の委託料を計上していたが、来年度県南地区のクラウド化が進むことから来年度に繰り越す。

## 答

公会計システム導入委託料計上のねらいは。

## 問

## 答

公会計システムは、総務省から統一標準ソフトが入っている。前段

農山漁村再生可能エネルギー法協議会の役割は。

## 問

農林漁業の健全な発展と調和のとれた再生可能エネルギー発電の促進に関する計画を策定するため設置する。

## 答

設備機器を搬入するマシンの寸法変更

車庫内スプリンクラー管へのヒーター巻付を追加

### 臨時議会12月14日招集

### 住田分署新築工事の変更請負契約

### 703万円増額で可決

〔当初〕 4億7952万円

〔変更〕 4億8655万円

〔変更理由〕

● 出動準備室と車庫間の入口を大きくし、開き戸から上吊り引き戸に変更

● 設備機器を搬入するマシンの寸法変更

● 車庫内スプリンクラー管へのヒーター巻付を追加



## 町政課題に厳しい声

議会では、「開かれた議会」「顔が見える議会」を目指し、「住民と議員との懇談会」を毎年開催しています。平成29年度は、11月7日から21日まで、9自治公民館・9会場で開かれました。懇談会は、自治公民館との共催で、議員3人で班編成し対応。議会の活動状況や町政課題、議会の活性化など貴重な意見交換となりました。主な項目を要約して報告いたします。



△2次災害が危がまれる河川敷の立木

### 中沢

11月7日  
出席者 11名

#### 洪水対策

**Q** 洪水時、中沢公民館は避難所にならない。

世田米中の方が良いのでは。

**A** 洪水時の1次避難場所は中沢公民館

ですが、避難滞りする2次避難場所は、世田米中体育館が指定されている。

**Q** クルミ等川沿いの木は伐採しておくべき。

洪水時、橋に引掛かって危険だ。町で一斉点検をしてらいたいのではないか。

**A** 川沿いの木でも所有権の分からないものは簡単に伐採できない。地域の人の意向を考慮することが大切。

**その他のご意見・要望**

- ・三木・ランバー問題
- ・町の人口減少問題
- ・世中周辺町道の拡幅

### 火の土

11月9日  
出席者 10名

#### 町施設整備計画

**Q** コミュニティバスの運行にかかる今後の計画は。

**A** 通園・通学に利用するダイヤの調整ができるように、県交通バスのダイヤ改正に注視しつつ検討している。

**Q** 役場周辺や有住地区の公共施設などの整備計画はどうなっているか。

**A** 老朽化の生活改善センターの改築など、役場周辺の整備計画を検討



△観光・町民の交通機関・国道改良など多様な意見が交わされた下在地区懇談会

### 恵山

11月10日  
出席者 10名

#### 班長手当

**Q** 班長の用務が多く、高齢化もある。班長手当を復活すべきと思うが。

している。

旧下有住小学校地内の、仮設の役割が終えた後の整備を検討している。

老朽化した上有住地区公民館などの公共施設を一体的に考え整備を検討する。

**その他のご意見・要望**

- ・木工団地2事業体の責務
- ・町道整備計画

**A** 班長手当では、自立した町づくりを進めるための官民協働の取り組みの一環として、平成24年度に廃止した。ご理解をお願いしたい。

**Q** イノシシ被害が住田後の対策は。

**A** 鳥獣対策として新たにイノシシ対策も加えている。すでに県と今後の対策について協議している。

**その他のご意見・要望**

- ・未来かなえネット
- ・農地対策
- ・上有住地区公民館改修

# 公平な行政サービスを求めて

## 五葉中

11月11日  
出席者 24名

### 県道の改良整備

**Q** 県道釜石住田線は交通量も多く、道幅が狭くカーブもきつい。水害が度々起き、早急に改良整備して欲しい。

**A** 県道釜石住田線の早期改良は、住田町要望の一番とし、議会とともに県に強く要望している。

**Q** 砂防ダムは砂が溜まり、ダムの効果が無い。取り除くことができないか。

**A** 砂防ダムは、堤体に土砂を堆積させ、沢の勾配を緩やかにし、河川

の侵食力を小さくする目的であり、取り除きは行わないタイプのダムであることをご理解いただきたい。

**Q** 松山地区には県内外から多くの来訪者がある

ので、河川などの環境整備や草刈作業などを地区民がしているが、機械の油代の支給ができないか。

**A** 町道や河川の維持管理については地域の皆様のご協力に感謝している。要望に応じ草刈機の燃料の現物支給を行う。

事前にお知らせくださるようお願いする。

#### その他の質問・意見

- ・五葉地区簡水の途中加入
- ・三木・ランバーの融資産
- ・体育館の軒天修理



△24名と多数の住民参加で、暮らしや防災、介護など活発な意見交換となった五葉中地区懇談会

## 下 在

11月11日  
出席者 13名

### 町のアピール

**Q** もっと住田町をアピールし、特に観光面に力を入れる必要があるのでは。

**A** 町をアピールできる機会として釜石会場で行われるラグビーワールドカップなどがある。観光協会や観光開発㈱、まち家世田米駅と連携して住田町の魅力を発信していく。

**Q** 下在地区に「ミニ」ティバスを運行して欲しい。

**A** 交通空白地域の対策は、町全体の公共交通施策の中で考えていきたい。

**Q** 国道改良工事に伴う「火石・和山交差点」など日陰で凍結するところに、ロードヒーティング設備ができないか。

**A** 凍結対策は、凍結防止剤散布などで対応していく。

その他の「意見・要望」

- ・木工2事業体の決算状況
- ・若者の職場確保対策
- ・国道340号改良工事

## 両 向

11月15日  
出席者 8名

### 悪臭対策を

**Q** 鶏糞処理施設の匂いがひどい。

**A** たい肥化処理は、関連する事業所に排出・運搬・処理の確認を対応する。

**Q** 炭化処理施設の臭気対策は、鶏糞の管理処理だけでなく、運搬や従業員の意識改革も進めている。

**Q** めがね橋周辺の景観保全を進めて欲しい。

**A** 道路改良や、袋下山鉦山石灰石運搬用橋の設置計画もあり、検討しながら進めたい。

**Q** 坂本地区第一集会所付近と船作地区の防災無線が聞かれない。

**A** 防災行政無線の屋外子局では、全てをカバーすることが困難な状況にある。このため屋内

く景観を活かした河川、道路改良が望まれている葉山めがね橋



に防災告知端末を整備した。子局増設などの難聴対策は経費を含め検討する。

#### その他の「意見・要望」

- ・へい獣処理場
- ・避難方法と対策
- ・地区公民館改築



# まちのこえ

懇談会では、議会活動や町政に関する情報を報告、説明をしました。

今回は、木工団地2事業体への調停申し入れ、道路の改良整備、防災、観光、居住・人口増対策など幅広く意見交換が行われました。



△住民の声をどのように生かしていくか  
昭和橋の架け替え

## 曙

11月16日  
出席者 12名

### 昭和橋

**Q** 昭和橋の建設計画を早急に進めて欲しい。  
**A** デザイン会議で有識者の方々から意見をもらって進める。

**Q** 風力発電計画はどのようになっているのか。  
**A** 現在は、風況観測や電力との売電手続きは終了し、環境アセスメント及び基本計画策定が行われている。

### その他の意見・要望

- ・農林会館のトイレを洋式に空き家対策
- ・除雪を流す大崎地区の水路に常に一定の水を

## 坂本

11月16日  
出席者 13名

### 通院の足確保

**Q** コミュニティバス路線に、通行の支障になる木や枝がある。適正管理をして欲しい。  
**A** 道路維持の一環で、支障木の枝切りや草刈りを実施している。連絡

を受け随時対応している。支障がある場合は連絡して欲しい。

**Q** 通院や買い物など足の確保は。  
**A** 短期的には現状のコミュニティバスで対応できるよ(コ)タイヤの調整を行う。長期的には新たな公共交通策を検討していきたい。

**その他の意見・要望**  
・木工事業体の未償還金回収  
・シカの被害対策強化

## 愛宕

11月21日  
出席者 13名

### 未来かなえネット

**Q** 未来かなえネットに登録すると病院を指定されるリスクがあるのか。  
**A** 本来、どこの病院に行っても情報(処方箋)が共有できる仕組みであり、そのようなリスクはない。

**Q** 愛宕公民館は、1階が消防屯所、2階が公民館。高齢者の利用が困難。建て替えできないか。

**A** 地域でまとまること  
が前提。新築・改修などの計画があれば補助金を交付する。

**その他の意見・要望**  
・大型おもちゃ制作  
・昭和橋  
・町の基金の活用  
・木工団地



△昭和橋、風力発電、空き家対策など多彩な意見が出された曙地区懇談会

### ■平成29年度住民と議員との懇談会

開催日	自治公民館名	出席者(人)		
		男	女	計
11月7日(木)	中沢自治公民館	8	3	11
11月9日(木)	火の土自治公民館	7	3	10
11月10日(金)	恵山自治公民館	9	1	10
11月11日(土)	五葉中自治公民館	12	12	24
11月11日(土)	下在公民館	8	5	13
11月15日(水)	両向自治公民館	6	2	8
11月16日(木)	曙公民館	10	2	12
11月16日(木)	坂本自治公民館	11	2	13
11月21日(火)	愛宕公民館	13	0	13
	9会場	84	30	114

# 住民と議員との懇談会

## 「住民の声」届ける

### 大船渡土木センターと意見交換

懇談会を通じて住民から寄せられた意見・要望で多かった項目は、国道や県道の整備に関する事項。

町政調査会は12月1日県大船渡土木センターにおいて、主要道路の改良工事の進捗状況や工事工程について意見交換を行いました。



①待望の完全2車線供用 国道397号高屋敷工区

一般国道397号のうち、高屋敷工区（全長約1.5\*<sup>㊦</sup>）で12月27日、全区間での2車線供用が始まりました。区間内で県道から乗り入れる部分の道路整備などは続きます。種山側の子飼沢工区のさらなる改良を求める要望を継続しています。



△新桥梁が整備される山脈地交差点

### ③国道340号葉山～恵蘇

#### 事業期間平成33年度まで

一般国道340号葉山～恵蘇工区（1.45\*<sup>㊦</sup>）は、幅員狭小、線形不良を解消し、交通の安全確保を目指します。用地買収、物件補償が出来た場所から道路改良工事を始める予定。



△護岸工事が進む山谷

### ②国道340号山谷工区 平成30年度末供用開始予定



△のり面工事中の火石

一般国道340号の山谷工区（2.7\*<sup>㊦</sup>）は、平成30年度末の供用開始に向けて急ピッチで工事が進められています。現国道は補修工事後、町に移管されます。



△交通難所の「おとし」

### ④県道釜石住田線 まず調査費の予算化

自動車道釜石道滝観洞インターが出来てから大型車などの交通量が増加。交通難所があるため、早期の改良工事を要望しています。大船渡土木センターとしては調査費の予算化に向けて前向きに対応が示されました。

# 一般質問

12月  
議会

一般質問は、議員が町長などの執行機関に対し、町の行財政全般にわたり、事務の執行状況や将来に対する方針など所信を聞き、報告や説明を求め、疑問点を質すこと。また、議員が主義、主張を述べ提案し論戦します。

一般質問の方法は、1回目は一括して質問しますが、2回目以降は1問ずつ質問する1問1答方式を採用しています。制限時間は、答弁を含めて60分です。

12月定例会では、7人の議員から16件の一般質問が行われ、町政全般について、2日間にわたり活発な議論が展開されました。

質問と答弁を要約した内容は、9ページから15ページでお知らせします。

なお、全文記録（議事録）は、2月下旬から役場庁舎2階の総務課と町ホームページ上で閲覧できます。

# 我が町政を問う

## 健康・生活環境・ 農業・学校教育などで論戦

ページ	質問者	質問項目
9	菅野浩正	①こざっぱり条例の推進 ②公共交通対策
10	瀧本正徳	①空き家「特定空き家」対策 ②健康寿命延伸策の推進
11	佐々木信一	①農業振興 ②観光振興
12	林崎幸正	①木工団地2事業体の未償還金等への対応 ②町民の健康づくり ③生活環境の向上
13	佐々木春一	①国民健康保険の広域化と医療 ②米政策の転換と農業の振興方策
14	村上薫	①昭和橋の架け替え ②神田町長が掲げる「医・食・住」充実策 ③第9次教育振興基本計画
15	荻原勝	①住田町の「少子化・人口減少問題」 ②住田高校存続への取り組み



議員のつぶやき

景観を大切に  
誇れる町にしたい。

# どう進める 「こざっぱり条例」

## 町長／町民運動の一環として

我が町政を問う

菅野 浩正 議員



△町が誇れる木造町営住宅群

**問** 「こざっぱり条例」の事業活動を実施するに当って、今後の計画をどのような形で進めようとしているのか。

**町長** 第4次住田町環境基本計画の中で、町民の行動指針の内容は草刈り、木の枝切り、自宅周りなどの環境保全や、道路や河川の環境保全活動に参加するなど、身近な、できることから自主的に実践していくというものである。

町の施策は、横のつながりをもって取り組むことが重要であり、関係する機関や団体とも連携を図りながら、里山の景観、環境保全に取り組んでいく。

**問** 先導的な地域指定や事業の推進を行う考えはあるのか。

るのか。

**町長** 条例の見える化が重要であると考えている。町から指定する予定は現在のところないが、先導して活動されている地域の取り組みは、積極的に町民に紹介する機会を設けていきたい。

**問** 協働の姿勢、町民が主体となって推進する上で、理解をどのように深めていくのか。

**町長** 直接的な町民などへの負担や義務を課す規定を設けたものではなく、町民運動の一環として、町・町民・事業者の統一した考えのもと、美しい里山に住み続けるための取り組みをそれぞれで進捗していることが重要と捉えている。

## 町民に伝える交通対策は

### 総合的な対策を推進



△心配される高齢者の足確保

**問** 交通対策アンケート調査結果によって見えてきた課題とは。

**町長** 630人、(48.5%)の方から回答があった。その結果、83%以上の方の移動手段は自分の車であり、その他の方々も家族の車で移動が多く、公共交通の利用は非常に少ないという結果である。通学、通院、買い物には、近隣の市町村まで通う方が多い。

運動できない高校生や高齢者などが移動するため、本町と結ぶ民間路線の維持は不可欠である。  
**問** 町民のニーズに応える交通対策をどのように進

めようとしているのか。

**町長** 利用者から要望や意見を聞いていくが、今後は、民間路線、コミュニティバス、その他の移動サービスなどの役割分担を明確にし、新たなサービスを含めた総合的な交通対策を推進していく必要がある。

各地区の小さな拠点との連携で、調査結果を提供し、地域との情報の共有を図っている。

**問** 庁舎前のバス停は、町民生活課長

以前から要望をいただいている。今後、乗降調査などを繰り返しながら考えたい。



議員のつぶやき

空家、廃屋  
目立ってきたナ

# 急げ空家対策

## 町長／住生活基本計画策定

**問** 空き家問題は全国的な課題の一つであり町も同様である。空き家対策は、方向を決め進めるべきである。その対策の状況は。

**町長** 8月に全国空き家対策推進協議会が設立された。全国規模の空き家バンクの稼働が始まり、その準備を進めている。住宅に関する総合的な方針設定や計画策定が必要。住田町住生活基本計画（仮称）の策定を進める予定である。

**問** 特定空き家に係る「助言・勧告」などの具体的な動きがあったか。

**町長** 第4次住田町環境基本計画の中で空き家対策を



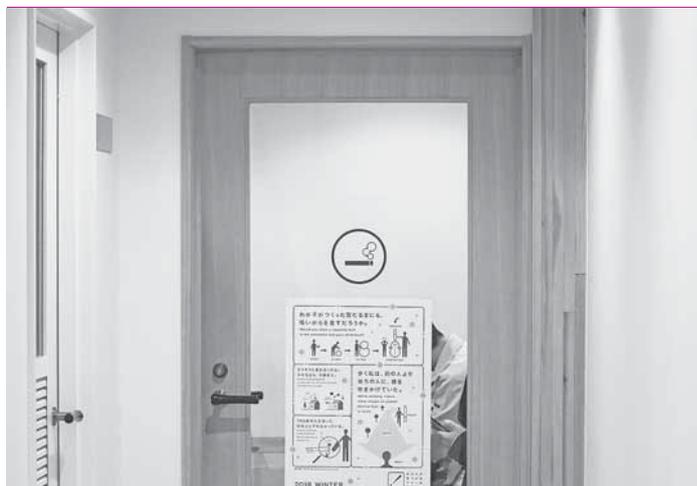
△対策を急ぐべき廃屋

進め、特定空き家などを増加させない取り組みを推進していく。現在、空き家対策の法務的対応に関する研究会などに参加し、その知識や事例等の情報収集に努めている。今は特定空き家認定の体制整備には至っていない。関係各課と横断的に連携し、住生活基本計画の中で総合的に推進する。

**問** 放棄住宅（廃屋）は、安心・安全、景観や衛生的な観点で問題でないか。

**町長** 安全性や町並み景観に支障を来しているものもある。所有者を把握し、適切な管理などを機会を捉え個別に対応したい。

## 総力で健康寿命延伸策を 町民連携の小さな拠点で



△禁煙論議？を呼んでいる喫煙ルーム

**問** 住田町らしい健康寿命延伸策を工夫改善しつつ、総力で進めるべきである。運動習慣や喫煙対策、健診受診率などが課題の生活習慣病予防策、関連環境の整備計画は。

**町長** 自分の健康は自分で守るという意識が原点であり、生活習慣や身体の状態を確認することが大切である。施策は、全体で課題を共有しながら、各課の施策を集約し、町民も参画する小さな拠点と連携して進める予定である。

**問** 健康寿命延伸策推進、まずは庁舎内を全面禁煙にする考えは。

**町長** 過去にもいろいろ議論があった。利用者などの状況を見ながら検討していくべきと考えている。

**問** 医療ネット（未来かなえネット）の住田町の状況と今後の対応策は。

**町長** 気仙全体で9803人。本町の加入者は1572人、人口の約28%。目標は人口の50%以上で、3000人を目指し普及啓発と加入促進を図る。



議員のつぶやき

子供たちに  
安全安心な食材を

# 安全安心 農業講座の開催は

## 町長／年度内の開催

我が町政を問う

ささきしんいち  
佐々木信一 議員



△安全安心の農業講座を受けている町内農家

**問** 安全安心農業のこれまで取り組んできた成果は。

**町長** 認証制度を農家が活用して生産・販売をしている。子供たちの給食食材として、安全安心の農産物を提供し、食育にもつながっている。

**問** 安全安心農業の課題は何か。

**町長** 町内の農家には、無農薬・無化学肥料や減農薬・減化学肥料栽培を行っている方もいる。認証を受けて、生産拡大や知名度の向上を図り、魅力ある制度にしていく。担い手となる農

業者の確保が課題である。

**問** 安全安心農産物認証表示制度の取り組みで、どの程度面積が拡大されたか。

**町長** 平成21年度の時点は、3名、1団体、7品目を認証し、面積は62・54a、平成22年度は、3名、1団体、11品目で、面積は107・29a、現在は、4名、1団体、13品目で、約300aとなっている。

**問** 安全・安心農業に取り組み始めてから、年数がたつ。再度、農業講座を開いてはどうか。

**農政課長** 農業講座は、前回の講師の方にお願ひし、今年度から開催を考えている。

**問** 町観光協会に、いわて連携復興センターから2名派遣されている。今年度で終了となるが、今後どのような体制で観光振興を図っていくのか。

**町長** 住田町観光協会・住田観光開発株式会社など、関係する団体と連携し進めて行きたい。

今後の具体的な活動内容を協議し、体制も検討していく。

**問** 観光協会で取り組んでいる、着地型観光基盤づくりの取り組み状況は。

**農政課長** 物産館を見据え、観光プラットフォームを8回開催しこれからの観光のあり方を検討している。新しい観光の目玉として、すみっこマルシェの活動も実施している。

### 旧J A支店の活用は

現時点は考えていない



△町づくりにどのように活かしていくか 旧J A世田米支店

**問** 旧J A世田米支店とふれあいセンター、J A有住支店を観光振興、地域振興の施設として活用すべきではないか。

旧有住支店の土地や建物は売却の方針。旧ふれあいセンターの利用方法は検討していると聞いている。

**町長** 10月上旬に大船渡市農協より、旧世田米支店と

現時点では土地、建物の取得、利用は考えていない。



議員のつぶやき

3事業体の  
一体経営は  
可能なのか…

# 木工2事業体への 調停申立は

## 町長／和解前に町民説明

**問** 木工団地2事業体への調停申し立ての状況はどうか。

**町長** 町の顧問弁護士により、両事業体と連帯保証人に対し、調停の申し立てを行った。

**問** 今後、調停をどのように進めていく考えか。

**町長** 町としては、できるだけ早期に和解ができる内容となるよう調停を進める。

調停の内容は、議員と協議し、和解する前に町民に説明する。調停による町債権を整理し、木工団地3事業体の一体経営が図られるよう期待する。

**問** 町の医療費は、県下トップクラスであり、大きな課題だが、その要因をどのように捉えているか。



△一体化が期待される木工3事業体

**町長** 糖尿病や慢性腎不全にかかる医療費の割合が高いことが要因。

**問** 病気になるもとは、喫煙と日常生活の不摂生が原因と言われているが、その指導をどのように考えているか。

**町長** 生活習慣病と呼ばれる、日常生活の習慣が疾病につながる。喫煙により、さらに発症する危険度が増す。糖尿病対策を最優先課題と捉え、重症化予防に視点を置き、保健指導に取り組む。特定健診の受診率向上を図り、生活習慣病予防の行動につなげる。

**問** 医療は、西洋医学を優先しての指導だが、今後は、体質改善や予防医療に効果があると言われている高電位治療器などの東洋医学を取り入れ、医療費の削減が期待できると考えるか。

**町長** 本町の医療・保健活動の施策は、各医療機関や健診機関などと協力連携し、治療や薬剤・食事についての指導・助言を受けている。

東洋医学は、一般的に中国系伝統医学を指している。

る。情報収集で、自分に合った予防や治療を検討し、試されることも一つの方法と考える。

**問** 健康づくりのものは食にある。自然農法の普及に取り組みべきと考えるか。

**町長** 食は健康づくりに大きい役割を果たしている。安全安心な農作物を町民に提供していくことが大切。改めて農業講座を開催するなど、安全安心な農業の推進に結びつけたい。

## 事業活動の悪臭排出規制は 公害防止協定の締結で



△公害防止の定めにより施設整備されている水質浄化処理施設

**問** 町民の健康の保護と良好な生活環境を保全するため、事業活動によって発生する悪臭などの排出を規制する条例があるか。

**町長** 本町では、環境基本条例を制定している。事業活動による悪臭などが、生活環境へ悪影響を及ぼすことを防止するため、町と事業所間で公害防止協定を締結している。



自分の健康は、  
自らの自然治癒力を  
高める体質改善で...

議員のつぶやき

# 国保税県試算 どのように対応

## 町長／町独自保険税率を検討

我が町政を問う

佐々木春一 議員

### 平成30年度1人当たり保険税額算定結果

岩手県 平成29年11月

No.	市町村名	被保険者1人当たり 保険税額(円)	平成28年度との 比較増減割合(%)
1	盛岡市	96,525	98.61
2	宮古市	95,869	100.97
3	大船渡市	108,512	110.44
4	奥州市	85,067	95.45
5	花巻市	88,893	102.78
6	北上市	87,607	95.12
7	久慈市	90,476	101.91
8	遠野市	85,367	100.08
9	一関市	83,528	90.48
10	陸前高田市	104,788	112.15
11	釜石市	91,432	113.23
12	二戸市	78,134	80.64
13	八幡平市	87,362	87.62
14	滝沢市	98,845	99.02
15	雫石町	104,509	115.82
16	葛巻町	94,974	100.49
17	岩手町	100,668	96.38
18	紫波町	88,387	97.96
19	矢巾町	110,768	114.50
20	西和賀町	103,481	109.33
21	金ヶ崎町	92,713	94.47
22	平泉町	74,031	77.48
23	住田町	106,131	96.94
24	大槌町	91,778	97.92
25	山田町	92,429	102.54
26	岩泉町	97,768	123.00
27	田野畑村	98,311	101.16
28	普代村	107,144	118.93
29	軽米町	81,740	94.57
30	洋野町	96,909	99.16
31	野田村	91,769	102.12
32	九戸村	82,710	104.69
33	一戸町	93,317	103.99
	岩手県	92,135	98.89

※平成30年度における実際の保険税額は、県が示す標準保険料率を参考として、各市町村が決定する。  
今回の算定結果(被保険者1人当たり保険税額)が、平成30年度の保険税額となるものではない。

**問** 11月に示した岩手県の標準保険料率の当町試算結果は、被保険者1人当たり10万6131円と発表された。町国保運営協議会が開催されたが、試算調整にどのように対応していくか。

**町長** 本町では現状の保険税額で維持できる見込み。国保運営委員からは、住民負担がないようにとの要望があった。町独自の保険税率を設定するか検討している。

**問** 今回の試算結果でも当町は県内で4番目に高い国保税額となっている。課税所得に対する国保税額の負担率はどうか。

**税務課長**

直近の国保1世帯当たり課税所得は88万2000円に対し、国保税額は13万5000円で、負担率は15.3%となっている。

**問** 当町の医療費は県内上位で推移している。県の算定では医療費指数を用いるが、医療費削減の方策は。

**町長** 健康課題として、糖尿病対策の重症化、発症予防対策が喫緊の課題。町民には、自分の健康は自分で守るという姿勢で自分事として取り組んで欲しい。

**問** 当町では子どもの医療費助成を高校生まで拡充してきたが、病院窓口での無料化とする医療費助成現物給付化を小学校までとの声があるが。

**町長** 現在、県内統一で未

就学児と妊産婦に現物給付が実施されている。小学生までの拡充は、県下での要

### 直接交付金廃止の影響は

### 980万円の減収

**問** 平成30年産から米の生産数量目標配分が廃止されるとともに直接支払交付金(10a当たり7500円)も廃止されるが、影響と対策は。

**町長** 国では、米の生産目安を市町村に配分する。直接支払交付金は、町全体で980万円の減収。水稻作付面積の減少が進んでいる。価格や生産の安定を図るため、生産者などと一緒



△米生産の持続には再生可能な価格補償制度が必要

**問** に環境を整えていく。担い手は営農継続できると不安視している。米は住田農業や自給率の柱であり、町独自の施策を打つべきでは。

**農政課長** 安全・安心、町内消費の推進に向け、米そのものだけでなく、状況を見ながらさまざまな方法を検討したい。



議員のつぶやき

新築な木造橋で、「木の町・すみた」をもっと発信できれば…

# 昭和橋いつ示す、

# ルート・幅員

# 町長／今年度中の確定目指す

**問** 昭和橋、現在の進捗状況は。

**町長** 様々な考え方や今まで積み上げてきた議論の内容を整理・点検し、町民からご意見をいただく準備を進めている。

**問** 県・住田整備事務所の動きは。

**町長** 整備事務所は、ルート、幅員の合意形成作業、周辺環境との整合性の検討、景観などデザイン検討を行うため、9月に橋梁予備設計業務を発注し測量調査などを開始している。

**町長** 今後の工程計画は。



△世田米川向・バイパスへの集積が進む中、交通量の増加が見込まれる昭和橋

**問** 昭和橋の木造化で木

は、諸条件によるが、完成は、平成34から36年度あたりが目標。ルート、幅員は、今年度の確定を目指す。

**町長** 安全を第一に、景観との整合性や色々な部分を含め検討していく。

来年度から5カ年の第9次教育振興基本計画に關わって伺う。

**問** 現在の町内2保育園合計児童数は、1〜5歳児平均で22人。この現実を踏まえた時、町内中学校1校化をどのように捉えるか。

**教育委員長** 現時点では中学校の1校化は考えていない。第9次計画期間に本町における中等教育の方向性や将来に向けた新たな教育システムなどを模索して行く。

**問** 人口ビジョン児童数1学年40人を達成するため、保護者の負担が重い

## 副教材費無償給付を 子育て支援策として効果白日



△教科書は無料だが、問題集など副教材費の費用も大きい

小・中学生の副教材費無償化など、思い切った子育て支援策が必要。いかがか。

**教育委員長** 全国的には、副教材費無償化や一部補助を制度化している自治体もある。本町でも、副教材費

支援は、児童生徒数確保に向けた子育て支援策として効果的な方法のひとつと考えている。

**問** 地区からの要望が強い上有住地区公民館改築計画を事業実施計画に登載すべきだが、いかがか。

**教育委員長** 上有住地区公民館は、建築後42年が経過

し建物だけでなく、施設全体が老朽化している。改築の必要性は高い。第9次計画で具体化する。

**問** 町民歌「幸せ創るまち」の活用を更に図るべき。

**教育委員長** 町民歌は、我が町への誇りや愛着、町民としての一体感を醸成するために制定したもので、可能な限り意図して活用し、改めて普及と利用を進める。

### その他の質問

・ 神田町政が掲げる「医・食・住」の充実策



議員のつぶやき

どうしたら人口が増えるのだろうか…

# 目標人口4000人は妥当か

## 町長／根拠と妥当性は具備

我が町政を問う

荻原

勝議員



△子どもたちの姿は、町を明るく元気にする

**問** 住田町人口ビジョンでは「2040年の目標人口を4000人」としているが、町が自立・持続していくための人口として妥当な数値と捉えているのか。

**町長** 国立社会保障・人口問題研究所の推計を受け、町では、さまざまな施策を展開することにより、出生率の向上と社会増減ゼロを目指し、2040年には何とか4000人の人口を維持しようと目標を掲げた。住民参加による政策決定も重視してきたので、目標設定の根拠と妥当性は具備されているものと認識している。

**問** 出生率の向上により目標の数値を目指すとしているが、出生率の向上に大きく関連する結婚・出産にかかわる施策をどう捉えているのか。

**町長** 町の婚姻数は、人口が減少する中であつて増加、もしくは横ばい傾向である。町の出産へのかわりには不妊治療、妊婦検診、出産助成、そして育児対策と切れ目のない支援に努めており、町としては、施策が不十分であるという捉え方はしていない。

**問** 住田高校の魅力向上を、更に町として強化すべきと思うがどうか。

**教育委員長** 補助事業として実施されている海外派遣事業や、給食の無償提供、通学費支援などの実績アピールも必要である。高校としての明確な出口対策を重ねていくことが重要である。住田高校からこの大学にとつていうような明確な将来像を、小学校や中学校のうちから培うことができるような支援のあり方も考える必要がある。

**問** 町民が一体となった住田高校存続への取り組みが必要と考えるがどうか。

**教育委員長** 中山間地域における人材育成に必要な高一貫教育校の設置、その絶対的な条件となる住田高校の存続は、地域懇談会やシンポジウムの開催などを通じ、広く町民理解を図る。住民運動として盛り上げながら、設置者として県にねばり強く訴え続けていきたい。

小・中・高が文部科学省の研究開発学校の指定を受け、地域創造学の研究開発に取り組んでいることも、町民とのかかわりが必要不可欠であり、町民一体となった住田高校存続に向けた取り組みの一つと考える。



△住高の魅力化に通学費支援を行っている

住高存続へ更なる取り組みを  
一貫校に向け住民運動盛り上げる

務民  
総教  
地域医療の充実・医師確保を



△気仙地域の医療・福祉の拠点となる県立大船渡病院

住田町のこれまでの医療体制は、県立大船渡病院附属住田地域医療センターを核とし、個人が経営する医科診療所、歯科診療所各2施設で担ってきたが、地域住民の医療を長年支えてきた民間医科診療所の2院が閉院したことを受け、医療

体制維持に向けた取り組みが必要となり調査研究を実施した。町は、住民の安心・安全確保の観点から関係機関に理解や協力を求めていかなければならない。とりわけ、早期の医師確保や診療体制の充実が望まれる。

また、地域における医師の役割は、在宅医療に対応した訪問診療、学校医や開業医、予防接種など多岐にわたる。今後、より具体的に地域医療体制の整備を図るためには、「地域医療体制検討委員会(仮称)」の設置が必要である。



△健やかな成長は医療と保健事業の連携で



△これからの林業を熱心に論じられた林業関係者との意見交換会

業済  
産経  
持続可能な林業に一貫施業

「森林・林業日本一の町づくり」を目指す、町林業のあり方を求めて、持続可能な木材生産の林業と森林の持つ災害防止や水源涵養など公益的機能面の調査のために、先進地視察や関係者と意見交換を実施した。持続可能な林業は再植林

にある。山からの収入確保のために「伐採、地搾え、再植林、下刈り」までの作業を同一業者で行う、一貫契約方式で造林経費を押さえる施策を進めるべき。林業経営に大きな役割をもつのは森林組合であり、将来を見据え、持続できる

林業のために積極的な事業展開を進める時である。将来を見越しCLTなど先進策の推進、林地残材対策と合わせた木質バイオマスエネルギー活用、木材集積場整備など「山を治める町」の町民意識を高めながら施策を図るべきである。



△再造林のため整備された林地



# 議会傍聴 町婦人団体協議会

12月5日、町婦人団体協議会（小野ちか子会長）の会員32名が、婦人団体リーダー研修会の一環として、町議会12月議会定例会一般質問を傍聴しました。

今回の研修は、男女共同参画、社会参加、議会・町政課題に理解を深めようと開催されました。

## 生活実態踏まえ

下有住 金野千恵美さん

現在抱えている問題と今後の方向を考える良い機会となりました。行政担当者への問いかけが多くありましたが、生活実態を踏まえた具体的提案に発展させていただけたいと思います。私は地域婦人部の活動をしています。女性はいつでも「縁の下の力持ち」ですが、後継者の問題があります。若い世代につながり、暮らしやすい地域づくりを考えていきたいと思っています。

## アンテナを高く

上有住 小野ちか子さん

10数年ぶりに町議会を傍聴しました。以前の傍聴とは違い住田テレビでの中継もあり様変わりをしていました。テレビで見ているより質問のやりとりは歯切れが良かったです。議員は町民の代弁者、アンテナを沢山立てて活動しなければいけないので大変だと思います。老若男女の目線でいろんな事を考え、町政の担い手として活躍してくれることを望みます。

## 私の感想（町政・議会を身近に）

## 健康管理に注目

世田米 紺野 浩子さん

私は、テレビで議会放送を見ることがあっても、議場での傍聴は初めてでした。町が抱えている課題や一般質問の流れを知ることができ、貴重な経験となりました。印象に残った質問に、「医療機器による治療で健康維持・医療費軽減」があります。医療の仕事をしてきた私には、このようなことが議会で討議されていることに少し驚きました。傍聴に、テレビとは別の臨場感を感じています。

## 住民の足確保を

世田米 佐藤 菊子さん

昨年10月運転免許証の更新手続きの際、視力低下で慌てふためきました。不安がつのるばかりです。私の住む小股地区は公共交通（バス）が通っておらず、移動手段は自家用車。生活の足を失うことは死活問題です。我が隣畑地区は大半が後期高齢者世帯。今年、数年ぶりにスクールバスがやってきました。コミュニティバス、スクールバスの併用で町民の利用が出来ないでしょうか。

# 一般質問その後 どうなりました

# あの提言

一般質問は、議員に与えられた重要な権限の一つですが、ここでは、一般質問のその後「どうなりました あの提言」として、過去の一般質問や議案審議などが町政にどう反映されているのかお知らせします。

掲載内容は、平成18年以降の質問から議会広報編集常任委員会で1項目を選び、その後の状況などを追跡しました。

特集

町と、議会と、町民は  
61

質問

## 魅力ある 地域づくりを

町内5地区公民館の課題を掘り下げ、地域の魅力発見や再生への取り組みをどう講じるのか。

答弁

## 集落支援員と 地域おこし隊の 配置

地域の特色を生かした小さな拠点づくりを支援するために、「地域交付金」を新たに設ける。

その後



△下有住いきいき活動協議会によるソバ収穫

## 各地区に 活動費80万円交付

地域課題解決へのコーディネータとして、全地区に集落支援員、地域おこし協力隊を配置した。

各地区に住民活動団体が組織され、活動費として80万円が交付される。

# 消防議会の うごき

**消防基盤を充実**  
11月24日、第2回定例会開催、平成28年度一般会計決算が認定されました。  
28年度の主の事業は、消防基盤の充実強化、防火対策の強化、救急・救助業務の高度化、消防団との連携強化事業などです。  
歳入合計9億9556万円。主な歳入は、分担金8億6236万円（大船渡市

7億664万円、住田町1億5572万円）、国庫補助金6954万円など。  
歳出合計9億6557万円、主な歳出内容・消防費8億7371万円（本部費1億9736万円、大船渡署運営費5億5815万円、住田分署運営費1億819万円）・災害復旧費6954万円など。  
差引残額3008万円。



△安全安心、防災拠点となる「完成間近の住田分署」

# 追跡



## 私の意見を 聞いて!

### 楽しいまとまりを



菊池 千代 さん

(下有住字高瀬)

下有住では、地域交付金80万円の受け皿として「下有住いきいき活動協議会」を創りました。私は、月山公民館の婦人部長であることから理事となりました。29年度の活動は、町のシンボリックスポーツである「クラブ大会」、長いのりまきで収穫を喜び合う秋の「下有住大収穫祭」、1月の新年交賀会（下有住を語る会）、そして遊休農地での「そばづくり」など多彩な活動です。  
公民館の仕事もあり重荷に感ずることもありですが、みんなが気軽に楽しく参加でき、地域がまとまればいいなと思います。

### 地域の活性化に

紺野 満 さん

(上有住字中沢)



今年度から小さな拠点づくりの組織を立ち上げることにしました。五葉地区は、昨年度まで「五葉地域づくり委員会」という地域活動組織があり、地区の活動を実施してきました。今回新たな組織も考えましたが、使い慣れている「五葉地域づくり委員会」を継続することにしました。今年度は、5事業を計画。目玉事業は、檜山地区にある「阿弥陀如来像」（住田町有形文化財第1号に指定）の建物が老朽化していることから、五葉地域の宝として保全修理を行うことになりました。地域の活性化になることを願っています。

# 傍聴に

来てけらっせん!!

次回の定例会は2月27日(予定)から  
開会は10時です。

詳しくは議会事務局へ ☎ 46-3754 (直通)  
E-mail gikai@town.sumita.iwate.jp



世田米字高屋敷  
菊池トモ子さん



世田米字川向  
佐藤 誠さん

# 私も ひとつと 甘口 辛口

80

## 現国道(火石)の補修工事を

●今活動していることは

「世小の森公園を守る会」で、春夏年2回以上、草刈りや木々の剪定をして公園の管理を続けています。高田・大船渡の分岐点でもあり、町の見栄えが良くなるよう心掛けています。

●議会や町に望むことは

行政の隣組班を見直すべき時です。昔のままで班があつちこつちに飛んで不便になっています。川向住宅の棟番号・番地が消えているので、町で補修して欲しいです。

●気になっていることは

新しい火石の国道が開通して、現国道が町に移管される前に、危険箇所、側溝歩道などを直してもらいた



△世小の森公園入口付近

## 声を掛け合いながら交流

●今活動していることは

婦人部で保健推進委員3年目を継続中です。時には老人クラブ活動に参加することもあります。地区館のバッチワーク教室などでは50代から80代の方が参加し時間を忘れるほどみなさん没頭し、楽しく取り組んでいます。

●議会や町に望むことは

国道の改良工事が行われていますが、取付け道路が高齢者には歩きにくい道路になるよう配慮です。当地区も高齢化が進み、町の中でも交通の便が悪い。他市町ではデマンドバス、タクシーの導入をしているようです。町民の足として対策を考えて頂きたい。



△地区公民館で開催されるパッチワーク教室

## 表紙の写真

### 世田米保育園



1月11日、世田米保育園で行われた祖父母交流会「みず木だんご作り」の様子です。



子供たちはもちろん、おじいちゃんおばあちゃんもはりきり、和気あいあいとした雰囲気の中作業は進み、みごとなみず木だんごが完成しました。その後、完成したみず木だんごをバックに、みんな一緒に笑顔で写真撮影を行いました。

## あとがき

▼明けましておめでとうございます。平成30年は戌戌(つちのえ いぬ)歳、新しい生命誕生の期待が大きく膨らみます。町民の皆様方のご多幸と飛躍の1年でありますように。

▼安心安全の拠点、消防住田分署がこの春に完成です。神田新体制は半年になります。住みたい共生の町づくり、「医・食・住」政策推進の年となります。

▼今回の特集は、昨年11月の「住民と議員との懇談会」の内容報告です。町政課題

に多くの質問や提言を戴きました。皆様の声を町政・議会活動に活かします。

▼新広報委員長体制、常に住民視線を大切にしながら親しめる紙面づくりを心掛けます。意見・感想をお聞かせ下さい。(龍本 正徳)

### 発行責任者

議長 菊池 孝

### 広報編集常任委員会

委員長 佐々木春一  
副委員長 龍本 正徳  
委員 菅野 浩正  
佐々木信一  
佐々木初雄  
荻原 勝